

書類を提出した日をお書きください。

令和5年度 松本市施設園芸省エネルギー化支援事業補助金交付申請書

令和5年〇月〇日

（宛先）松本市長

〒390-〇〇〇〇

申請者【住所】長野県松本市〇〇〇〇…

【電話番号】0263-〇〇-〇〇〇〇

【E-mail】〇〇〇〇@〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

【団体名（※）】

【氏名（代表者名）】〇〇〇〇 〇〇

※法人・団体等で申請する場合に記入

金額などの数字は全て例です。

令和5年度において、下記のとおり松本市施設園芸省エネルギー化支援事業を実施したいため、補助金2,333,000円を交付してください。

記

事業費から税を引いた額に2/3を乗じ、ご記入ください。

1 事業内容

別紙 実施計画書のとおり

2 添付資料

(1) 実施計画書（様式第2号）

(2) 導入機器又は資材の見積書の写し（単価・数量等の明細等が分かるもの）

(3) 導入機器又は資材の仕様に係る資料（販促チラシ、カタログ等）

(4) 事業規模が分かる資料（設計書、図面等）

(5) 事業実施予定地の位置図

(6) 資材導入前の圃場の写真（^ほ燃油使用暖房機等の加温設備を既に使用している者は、その写真も添付すること。）

(7) 規約又は定款（農業者の組織する団体・法人の場合）

(8) 市税の滞納がない証明書

(9) その他市長が必要と認める書類

(2) 見積書は概算ではなく、確定した額のものをご提出ください。交付決定後は額の変更ができません。

(3) チラシやカタログがない場合は、対象商品の仕様等が分かるホームページ上の画面を画像化したもので構いません。

(4) 資材の導入量が適当か確認します。施設の間口、奥行（長さ）等が分かるよう、作成してください。

(5) 一般的な地図が無ければ、Google マップや「農地ナビ」等で位置情報をプロットしたものを提出してください。

(6) 資材導入前の①施設内部、②施設外観、③燃油使用暖房機（備え付けであることが分かる配管ダクト等も含む）を撮影した写真をご提出ください。

(8)「市税の滞納がない証明書」は、申請日から1か月以内のものをご提出ください。PDF等の写しで構いません。証明書は松本市役所本庁1階市民課、5階納税課、もしくは各地域づくりセンターで発行できます。（※発行手数料300円はご負担ください。）

様式第2号（第5条関係）

令和5年度 松本市施設園芸省エネルギー化支援事業実施計画書

下記の例文を参考に、
本事業に取り組む目的
をお書きください。

申請者【団体名（※）】

【氏名（代表者名）】 ○○○○ ○○

※法人・団体等で申請する場合に記入

1 事業の目的

燃油使用量削減のため、ヒートポンプと内張カーテンを新規導入し、劣化している被覆資材の張替えを行う。

2 事業計画

事業実施予定施設がある場所の地番と
合計面積をお書きください。

(1) 事業実施予定施設

所在地	松本市○○○○○○○○○123-4	面積（a）	10a
-----	-------------------	-------	-----

(2) 施設園芸 実施計画

区分	事業実施予定施設における栽培品目	出荷量 (t、千本等／年度)	事業実施予定施設の年間燃油使用量 (L/年度)	備考
現状	キュウリ 出荷量は最新の量をお書きください。燃油使用量と同じ年度でなくて構いません。	35t ※1	4,500L／年度 ※2	過去3年間のうち最大となった年間燃油使用量をお書きください。期間は原則的に4月～3月としますが、申請者の事業年度に合わせてご記入頂いても構いません。（出荷量も同様）
次年度見込み	キュウリ	35t	2,475L／年度 ※3	別紙Q&A等の数値を参考に計算し、ご記入ください。

※1 当該事業実施予定施設で栽培している作物の出荷量（t、千本等／年度）を記載し、品目が複数ある場合には内訳を記載すること。

※2 過去3年間の最大使用量（L/年度）を記載すること。

※3 当該事業での資材・機器導入効果を加味した燃油使用量の見込みを記載すること。

3 機器又は資材の導入計画

(1) 工期

着工予定年月日： 令和5年11月1日

竣工予定年月日： 令和6年3月31日

現時点での予定日をお書き
ください。

(2) 機器・資材等導入計画

導入機器・資材等名	品名・型式・規格・構造等	数量 (個数等の事業量)	事業費 (円) ※2	市補助金額 (円) ※3	備考 (消費税等相当額を記載) ※4
ヒートポンプ	施設園芸用ヒートポンプ EPH61	2台	3,850,000 円	2,333,000 円	350,000 円
ハウス本体の被覆資材	〇〇〇〇	〇m			
内張カーテン	〇〇〇〇	〇m			

品名など、導入資材の詳細をお書きください。

事業費の合計額(税込)をお書きください。

ヒートポンプ、保温カーテン、ハウス本体の被覆資材等、導入資材・機器の種類をお書きください。

事業費から税を引いた額に2/3を乗じ、ご記入ください。

消費税等相当額をこちらにお書きください。(その他備考は余白に)

- ※1 消費税等は、補助対象としない。
- ※2 事業費は、事業費を記載すること。
- ※3 市補助金額は、事業費から消費税等相当額を控除した額に3分の2を乗じて算出し、1,000円未満の端数が生じた場合はそれを切り捨てること。
- ※4 備考欄に事業費の消費税等相当額を記載すること。

4 事業完了予定年月日
令和6年3月31日

事業完了予定日が不明な場合は3月31日で構いません。

5 収支予算書

(1) 収入の部

区 分	本年度予算額 (円)	前年度予算額 (円)	比較増減		備 考
			増(円)	減(円)	
市補助金	2,333,000	0	2,333,000	0	
自己負担	1,517,000	0	1,517,000	0	
計	3,850,000	0	3,850,000	0	

事業費(税込)から市補助金額を引いた自己負担額をお書きください。

前年度に本補助金の利用がなければ0とお書きください。(※R5年度は全員0)

(2) 支出の部

区 分	本年度予算額 (円)	前年度予算額 (円)	比較増減		備 考
			増(円)	減(円)	
機器・資材購入費	3,850,000	0	3,850,000	0	
計	3,850,000	0	3,850,000	0	

事業費(税込)とイコールになります。

※ 国又は他の地方公共団体等の他の制度により補助金を受ける場合は、その補助金額を収入の部に記載すること。

事業費(税込)をお書きください。

前年度に本補助金の利用がなければ0とお書きください。(※R5年度は全員0)

問	答
<p>次年度の見込みの燃油使用量はどのように計算したらいいですか。</p>	<p>メーカーや「施設園芸省エネルギー生産管理マニュアル（別紙）」が提示する熱還流係数等から、理論上の燃油削減率を求めて使用してください。</p> <p>【例】 施設園芸省エネルギー生産管理マニュアル [p28] より</p> <p>① （現）農 P0 の 1 層カーテン ⇒ （導入後）農 P0 + 農 P0 の 2 層カーテン</p> <p>〈熱貫流係数〉 （現）3. 9 ⇒ （導入後）3. 2 $(3. 9 - 3. 2) / 3. 9$ = 18% の燃油使用量の削減が可能</p> <p>② （現）1 重 + 農ポリの 2 層カーテン ⇒ （導入後）1 重 + 農 P0 の 2 層カーテン</p> <p>〈熱貫流係数〉 （現）3. 4 ⇒ （導入後）3. 2 $(3. 4 - 3. 2) / 3. 4$ = 6% の燃油使用量の削減可能</p> <p>③ 他にもおおよそ以下の数字をご活用ください。 ・ 10 a 当たりヒートポンプ 1 台の導入（ハイブリッド運転）：40% 削減 ・ 10 a 当たり循環扇 1 台の導入：10% 削減 ・ 環境制御システムの導入：5% 削減 ・ ハウス本体の被覆資材の張替え（同等資材の場合）：5% 削減</p>
<p>内張カーテンに関して、同じ資材に更新する場合、燃油使用量（見込み）はどのように計算すればよいでしょうか。</p>	<p>耐用年数が過ぎている場合は「カーテンなし」とします。</p> <p>【例】 （現）1 重 + 農ポリ [耐用年数切れ] の 1 層カーテン ⇒ （導入後）1 重 + 農ポリの 1 層カーテン ↓ （現）1 重被覆カーテンなし ⇒ （導入後）1 重 + 1 層カーテン（農ポリ）と見なします。</p> <p>よって… 〈熱貫流係数〉 （現）6. 4（1 重被覆資材：農ビの場合） ⇒ （導入後）4. 2 $(6. 4 - 4. 2) / 6. 4$ = 34% の燃油使用量の削減が可能</p>

II 温室の保温性向上技術

表-1 被覆方法別の熱貫流係数（熱貫流率）

(A) 1重被覆

保温方法	被覆資材	熱貫流係数 ($W \cdot m^{-2} \cdot ^\circ C^{-1}$)
1重被覆 カーテンなし	ガラス、硬質板	5.8
	農ビ、農PO、硬質フィルム	6.4
	農ポリ	6.8

(B) 保温被覆（その1）（固定張り資材：ガラス、硬質板、農ビ、農PO、硬質フィルム）

保温方法	カーテン資材	熱貫流係数 ($W \cdot m^{-2} \cdot ^\circ C^{-1}$)
1重 + 1層カーテン	不織布	4.4
	農ポリ（ポリエチレンフィルム）	4.2
	農酢ビ（酢酸ビニルフィルム）	4.1
	農PO（ポリオレフィン系フィルム）	3.9
	農ビ（塩化ビニルフィルム）	3.8
	中空構造フィルム	3.7
	LS同等品（シルバ1：透明1）	3.7
	LS同等品（全面シルバ）	3.5
	布団資材（12mm～5mm厚）	1.8～3.0
1重 + 2層カーテン	農ポリ + 不織布	3.6
	農ポリ2層	3.4
	農ビ（農PO） + 不織布	3.4
	LS同等品（シルバ1：透明1） + 不織布	3.4
	農ビ（農PO） + 農ポリ	3.3
	農ビ（農PO）2層	3.2
	LS同等品（全面シルバ） + 不織布	3.1
	中空構造フィルム2層	3.1
	LS同等品（シルバ1：透明1） + 農ビ（農PO）	2.9
	LS同等品（シルバ1：透明1） + 中空構造フィルム	2.9
	アルミ蒸着 + 不織布	2.9
	アルミ混入中空構造フィルム + 農PO	2.7
	LS同等品（全面シルバ） + 中空構造フィルム	2.7
	アルミ蒸着 + 透明フィルム	2.5
アルミ蒸着 + LS同等品（シルバ1：透明1）	2.5	
農PO + 布団資材（12mm～5mm厚）	1.5～2.5	
1重 + 3層カーテン	寒冷紗（または割布）2層 + 不織布	3.4～4.2
	LS同等品（シルバ1：透明1） + 不織布 + 寒冷紗	3.1～3.6
	LS同等品（シルバ1：透明1） + 不織布2層	2.8
	農ビ（農PO） + 農PO + 不織布	2.8
	農ビ + 農PO2層	2.7
	LS同等品（シルバ1：透明1）2層 + 通気性資材	2.7
	中空構造フィルム + 透明フィルム2層	2.7
	中空構造フィルム2層 + 透明フィルム	2.7
	LS同等品（シルバ1：透明1） + 透明フィルム2層	2.6
	LS同等品（シルバ1：透明1）3層	2.5
	LS同等品（シルバ1：透明1） + 中空構造フィルム + 農ビ（農PO）	2.5
LS同等品（シルバ1：透明1）2層 + 中空構造フィルム	2.5	

(C) 保温被覆（その2）

保温方法	被覆資材	熱貫流係数 ($W \cdot m^{-2} \cdot ^\circ C^{-1}$)
固定2重被覆 空気膜2重	カーテンなし	3.8
2重 + 1層カーテン	農ビ、農PO	3.2
	中空構造フィルム	3.1

出典）施設園芸・植物工場ハンドブック